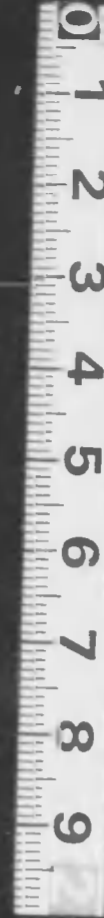


週寫
報眞

情 報 局 編 輯
二 月 十 八 日 第 二 百 八 十 七 號

全力で護れこの空この國土



シンガポールは目
と鼻の先、あそこ
だ！ 陸橋が壊さ
れてゐる。だが、
何これしきの狭い
水道、総攻撃の日
が待たれる

全マレー羊島は日章旗



時 立 の 札

第六十第

(日曜水)

昭和十七年二月十八日

★ シンガポールは陥落しても

それは大英帝國東亞侵略百年の

★ 年貢の納め時

★ まだあるぞ、

カナダ、ロンドン、ワシントン

全マレー半島は日章旗

撮影

同慶通信社
日本映畫社



開戦以來五十五日、千キロの陸路を踏破して今日ぞついに全マレー半島制壓へ、ジョホール驛に突入する先登部隊



勇士達は大砲を分解し、重い砲身を砲車をその肩にかついで、河を渡り悪路を征服した



敵が橋といふ橋を全高、破壊してしまつたので、我が進軍部隊は立木を倒してその上を渡つて行つた



破壊された橋梁の修理には住民を進んで協力してゐる



逃げおくれわが軍に投降したイギリス兵とインド兵の群



敵が撮影したフィリピン爆撃



てに港軍デビキ 艦水計米寸起を災火に弾撃直の野荒がわ 日十月二十



てわあ大の軍敵るすとうさ出び運へ所他を株糧兵らか庫食品需軍の内港るあいつれさか會に火猛 機撃爆港軍デビキ 日十月二十



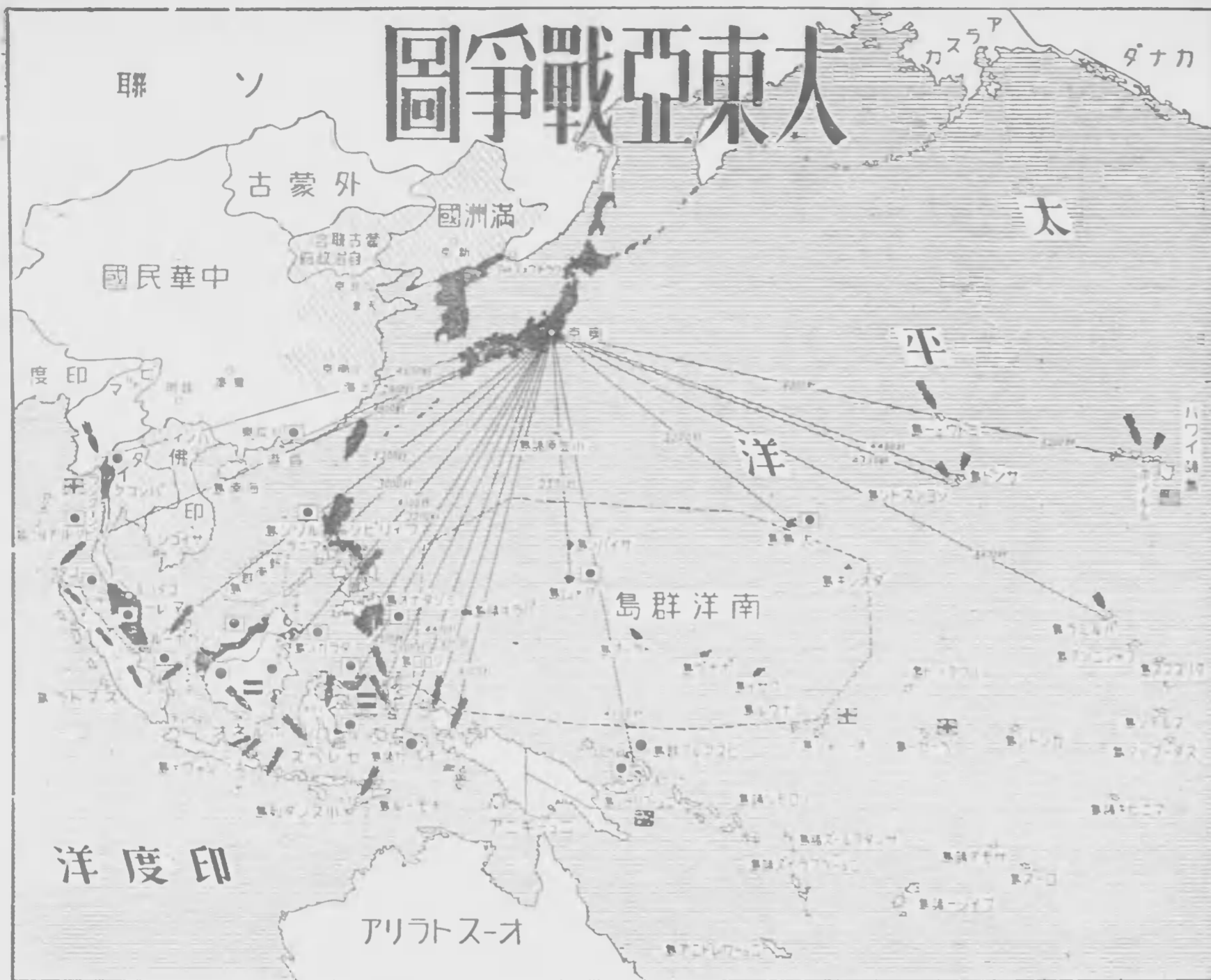
跡の撃爆場工繕修港軍デビキ 日十月二十



兵國米るす察視を機設施事軍敵の街市クアラパたれさ撃爆に軍がわ 日三十月二十

大東亞戦争に示したわが航空部隊の活躍は實にめざましいものがある。こゝに掲げた写真は、フィリピン戦線において如何にわが艦隊の爆撃が正確無比なものであつたかを實證したものである。しかもこの写真の撮影は何れもわが爆撃直後、敵側の手によつて行はれたものだから、わが軍疾風の進軍の前に、あつてふためた敵側が遺棄して行つたフィルムの中から現像したものである。

陸軍省報道部提供



機皇型(B-18)の場行飛スコーたれき壊てつ遭に撃爆がわ 日十月二十 撃爆ンピリィフたし影糧が敵



邦防消備敵る才躍活て所換交物使郵の場行飛スコー州ルーリるえ燃てれは舞見に弾中必がわ 日十月二十

大東亞戦争日誌

一二月一

一日 ●未明、航空母艦、甲巡艦等より成る敵部隊マニラに出現したるも直ちにこれを撃退、本艦隊において甲巡一隻に大火災を生ぜしめ敵飛行機十一機を撃墜

三日 ●海空軍は一日より本日にわたりジャバ海西部を激攻、敵艦六千トン級一隻、三千トン級二隻、千トン級一隻を撃沈、海空軍はジャバ島の主要航空基地スラバヤ、マラン等を空襲、敵機八十五機(うち不確実)を撃墜、所在の敵航空兵力の大半を撃破せり

四日 ●海空軍はジャバ沖海戦において敵艦ジャバ型一隻を撃沈、陽動ロイテルを大破沈没、陽動ジャバ型一隻、米甲巡一隻、並びに陽動巡洋艦一隻を大破、五千トン級敵艦一隻を撃沈、本海戦により開戦以来南太平洋に激戦あり、敵艦隊、就中陽動艦隊主力を潰滅せしむ

五日 ●海空軍はジャバ海方面において敵大刑艦一隻を撃沈、元東陽艦は對潜水艦攻撃をその主要任務とし、従つて潜水艦に對敵艦隊に襲ひかかり、これを撃沈したるは海戦史上殆んど類例をみざる偉業といふべし

六日 ●陸空軍はバンカ島(シンガポール東南方約百キロ)ムントク飛行場を大舉襲撃、敵機二十八機を撃墜、マレー方面より撤退せる敵空軍の大半を撃滅、陸空軍は四次にわたりミンガラトン飛行場を反復進攻、敵機十二機を撃墜、飛行場重要施設を破壊炎上せしむ

七日 ●陸空軍はジャバ方面の相撃戦あり、撃破四百七十機(三)撃沈敵艦九十二隻(四)俘虜二万二千三百七十一、遺棄死傷七千七百(五)我が軍の損害死傷三千八百八十二、マレー方面を除く、飛行機百五十三機、輸送船沈没十隻、破損十六隻(うち六隻は修理完了す)に就航

八日 ●マレー方面陸空軍は昨日及び本日スマトラ島パンバツ飛行場その他を強襲、敵機六十七機(七日五機、八日十七機)を撃墜、英陸空軍に破滅的打撃を與ふ

九日 ●シンガポール島攻撃の陸軍は八日以來敵の抵抗を排除してシンガポール水道通過に成功、午後七時、テングア飛行場を完全占領

新戦場
辞典
シヤヴァ



マカッサル海、ジャバ海、フロレス海、ベンダ海の全海面を制しつゝあつたわが海軍航空部隊は、去る三日大東ジャバ島の主要航空基地スラバヤ、マラン等に初猛爆を執行して、敵側が虎の子敵艦隊主力を發見、戦闘數刻にして蘭艦ジャバ型一隻を轟沈、同デ・ロイテルを大破まもなく沈没せしめ、別に蘭艦ジャバ型、米甲巡及び蘭艦トロンブ型各一隻を大破、五千噸級敵艦一隻を撃沈して、蘭印艦隊を事實上壊滅せしめる大戦果を収めた

この水陸両方面にわたるわがジャバ島攻撃の威力は、英、澳を結ぶ敵の主要紐帯を見事に切断し、断末魔のシンガポールから蘭印、濠洲方面に脱出せんとする敵の逃走路を完全に遮断するとともに、イギリス残存部隊と共にハーフト大將の率ゐるアメリカ東亞艦隊に合流し、あはよく太平洋のゲリラ戦を試みんとしたわが敵艦の策略を完全に挫折せしめたもので、我局に際し軍事上の経済的意義は非常に大きいものといへよう

オランダ本國がわが臺灣よりも小さい國でありながら、なほ世界の『持てる國』の一つとして富裕な生活を送つてゐられるのは、實に

本國の五十倍以上にも及ぶ蘭印その手中にをさめてゐるからだといはれる。まことにその通りで石油、ゴムをはじめ、錫、茶、コブラ、砂糖、煙草、椰子油、珈琲等、蘭印の資源の豊富さには『世界の寶庫』の名にたがはぬものがある

一口に蘭印といふけれども、それはジャバ、スマトラ、ボルネオ、セレベス、ニューギニアといふ五つの大きな島とその他無数の島々から成る廣大な地域で、全面積百九十五万平方キロ、人口七千万を超え、面積、人口ともに南洋の大半を占めてゐる。そのうちジャバはわが本州の約六割といはれる比較的小さな島であるが、非常によく開發されてゐる人口も多くこゝに集中され、蘭印の中心地となつてゐる

ジャバの面積は約十三万平方キロ、人口は約五千万を數へ、その密度は一平方キロに三百五十人の割合で實に世界第一の人口稠密地である

ギリシャのトレミーの地理書にさへすでに早く『黄金に富む豊饒の島』としてジャバの名が記されてゐる通り、ジャバは昔から天恵の農業國で、地方によつては山の頂上までも田や畑になつてゐるところがあり、米、甘蔗、ゴム、茶、規那、珈琲等の有用植物が到るところに植付けられてゐる。それに何よりも驚かされるのは灌漑排水の設備が實に行届いてゐる

バタヴィアの總督官舎前に整頓したオランダ人將校たち

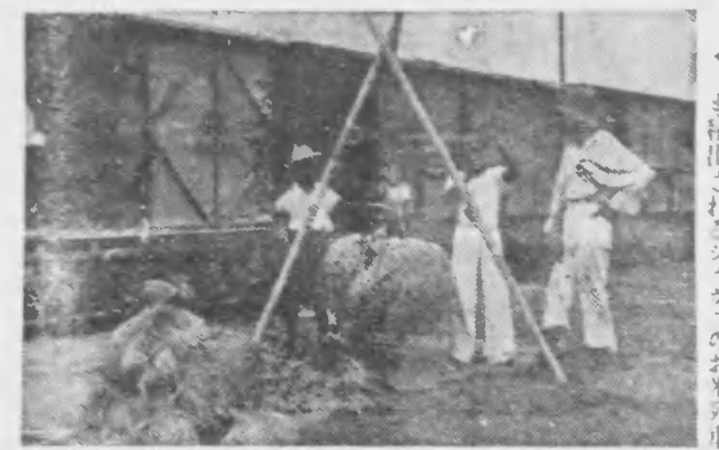
こと、渠、種などもコンクリートで立派にこしらへられてゐる上に、道路の開けてゐることはこれまた想像以上で、どんな片田舎に行つても垣々たるアスファルトで舗装された道路が四通八達してを

笑さへも見せず、高聲で笑ふやうなことは全くないといつてもよからぬだ。機械的に農業に従事し、貧困な生活を甘受してゐる彼等を包んでゐるものはたゞ鈍い諦め

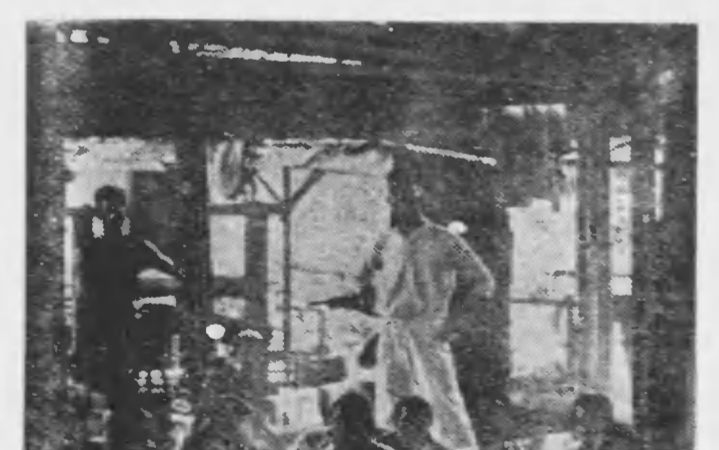
の表情だけである。オランダ人たちは彼等を許して『従順な』民族であると賞讃してゐるが、この言葉こそ彼等が永年鐵の鞭を振つて飼ひ馴らしたもののへ優越感の現はれに過ぎないのだ。ジャバ人は一言にしていへば憂鬱な民族である。その憂鬱や哀愁は三百年の長い間オランダの統治下に搾取されつづけてきた間にいつか知らず習ひ性となつたものにほかならず、吾吾はこれによつて被壓迫民族の深刻な哀しみを、一面また海賊國家の統治の酷たらしさをいまさらながら知るのである



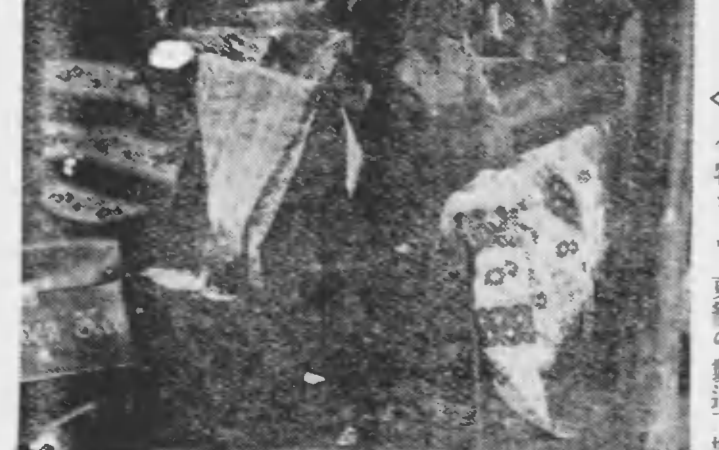
て種は年中實り、二毛作はさるるか工夫によつては三毛作さへできるからで、現に相並んだ二面の田で一方で田植をしてゐるかと思へば一方で刈入れをしてゐるといふ風景が珍らしくない。現在でもジャバの米作はひとりその稠密な人口を支へてゐるばかりでなく、十分な米産を缺いてゐる東部のモルッカ諸島その他の島々をも餘に養ふことができる。またジャバに多量



のほかに世界第一の産額をもつ錫那をはじめ、蘭印に産する物は殆んどがジャバに産し、數限らない天産物が世界の市場に積出されるこのやうにはジャバは常に蘭印の倉庫であり同時にその配給所でもあるわけだ。首都バタヴィアは人口五十三万を有する近代都市で、各種の官署、學校があり、政治、教育の中心地であるばかりでなく、また近代商業の中心地となつてゐる。外港のタンジンプリア



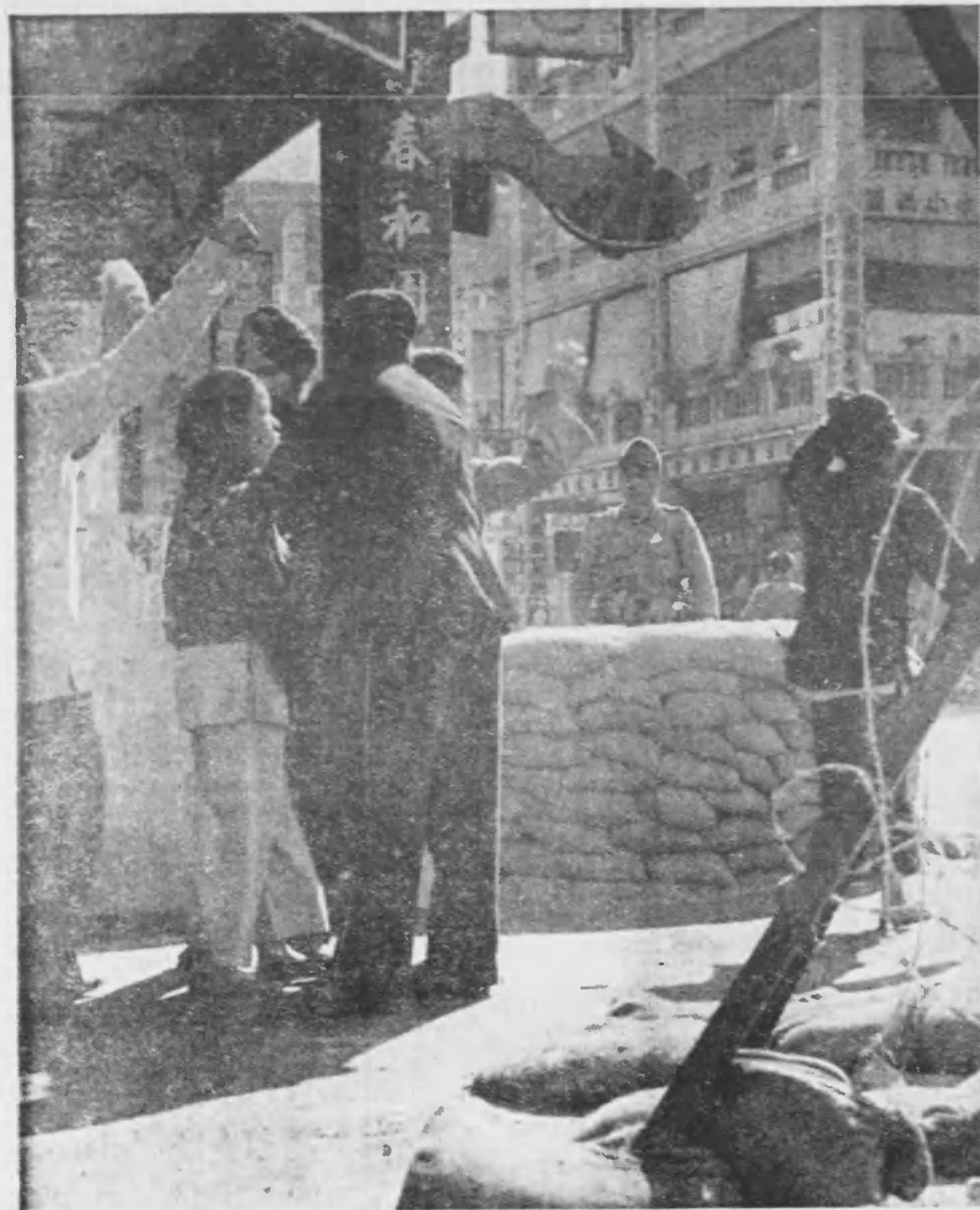
オクは蘭印の大支團で、バタヴィアの東北約九キロ、シンガポールから四十時間の航程にある。大防波堤に包まれ、港内は廣く港灣の施設も見事に完備されてゐる。貿易場高は一億五千万を越え、最近極めて活潑な發展を遂げつゝあるやうだ。こゝはまた國際航空上の重要な地點で、オランダ航空會社の田植から收穫まで四月、早くも積出されるジャバのお米列車



は遠く本國とアジアを結ぶ航空路を經營し、さらにこゝを中心として蘭印各地に航空路を開き、またフィリピン、濠洲、印度支那とも連絡してゐた

ジャバはまた自然の風光にも優れた美しい島で、オランダ人たちの瀟灑な住宅、廣いベランダ、そのまはりの豪壯な庭園、チニリップの花畑などが秀麗なジャバ富士の山懐に抱かれてゐる有様は眞に南洋の樂土と思はせるものがある。しかし住民たちの生活はこれに反してきことに程度の低いもので、竹と藤とでつくられた極めて粗末な小屋に住み労働者の賃銀にしても大體男が三、四十仙、女は二十仙から二十五仙である。今日ジャバを訪れる者は彼等のいかにも元氣のない顔にひとしく驚かされるに違ひない。殆んど微

名物ジャバ更紗の製織工場



↑ 香港の繁華街
↑ 支那方面陸軍建設部
↑ 支那方面陸軍建設部



春光香江

百年間に亘つて香港島のピークの上に傲
慢にはためたユニオンジャックの旗は、
舊曆二十五日、日軍の同島完全占領とも
に、即日正明な日章旗の翻揚たるはためき
に、新生香港の治安は日一日と良好に
向ひつつある。

しかしながら、香港は米英の資本主義的
侵略の役割を果してきた東亞の本據であつ
ただけに、大東亞共榮圏の重要組織の一環
として更生するには政治、経済、文化等各
方面に亘つて百八十度の轉換を行はねば
ならず、この再建工作は並大抵のことでは
ない。

わが香港占領地總督部はこの困難な同
島の統治に對して、軍政下の警備、治安の
維持は勿論、全島の安定工作、貿易問題及
び人口、食糧問題等の切迫工作に乗り出し、
大東亞戦争遂行の重要な推進基地として明
朗香港の建設に邁進してゐる。

↑ 香港の繁華街の保安に
↑ 支那方面陸軍建設部
↑ 支那方面陸軍建設部



↑ 支那方面陸軍建設部
↑ 支那方面陸軍建設部



んせまりなはてくなか置 て得心はけだれこに空防

—闘 戦 空 防—

—下 令 襲 空—



火に近づく前に、水を浴びることも必要だ、火傷を防げる



空襲警報が發せられた、防火服に身を固め、待避して待機せよ



遠投には水を庭の上からかける



焼夷弾など、先づ水だ、先づ延焼防止に天井や周囲へ



隣組からも駆けつけた、敢然と消火作業はつづけられる



連絡係は隣組へ去を知らせ、確保は漏れをもつて現場へ

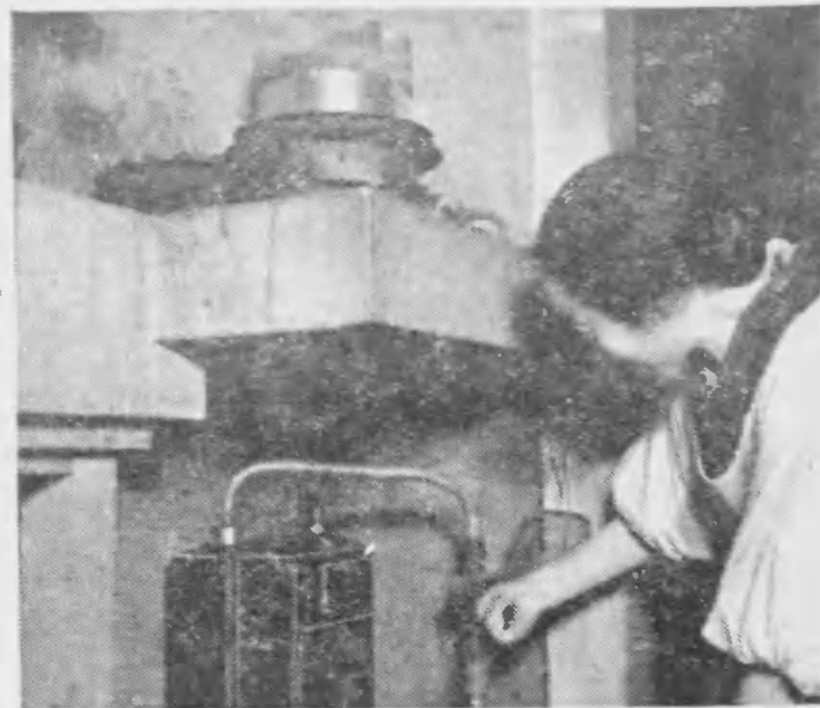
内務省防空局提供



家の周りの燃えぐさを取のけ、通路の障害物も片づけて



あらゆる容器に水を満たせ、池や井戸の水も確保せよ



ガスの元栓は締め七輪、火鉢など火の元を処理しよう



二階や勝手口にも水や用品を配置せよ、残すだけでは不十分



襖、障子は取はずし、錠をかけずに雨戸は締めよ



備え用あつてこそ、最早い消火ができるのだ



空哨の暁

昨年十二月八日、大東亞戦争に突入した日から、大都市重要都市に住む者なら誰もが幾度か、轟々たる爆音に、曉の夢を破られたにちがひない。そして、あゝ、又今朝も飛んでゐて呉れるな、と思はず胸に込み上げてくる熱いものを、ぐつと噛みしめ乍ら、この護りあればこそ、と今日も事なく明けるであらう標やかな朝を思ひ、感謝に襟を正したことであらう。

ひし／＼と身を刺す敵多のそれも曉の寒気をついて、何時何處から、不意を衝いて現はれるかも知れない敵機に備へ、若しもわが國土を親よ敵機あらば、敢然と挑みかかり、必勝を期してはばたく荒鷲。〇〇飛行基地の哨戒飛行隊は、連日連夜敵多の寒気をもとせず、軍のやうな寒機を纏つて、空と國土の萬全の護りに就いてゐる軍官民、一絲亂れることなく國土防空の護りについた決戦下、わが防空陣に、何といつても難母しく力強いこの荒鷲の偉力。われ／＼國民はその艱苦の前に感謝し、國土防衛について一層の決意を固めよう。



鋭い投光器の光芒の中を、一瞬、銀筋が過ぎ、一機又一機、銀筋は、濃霧の空に消えてゆく。

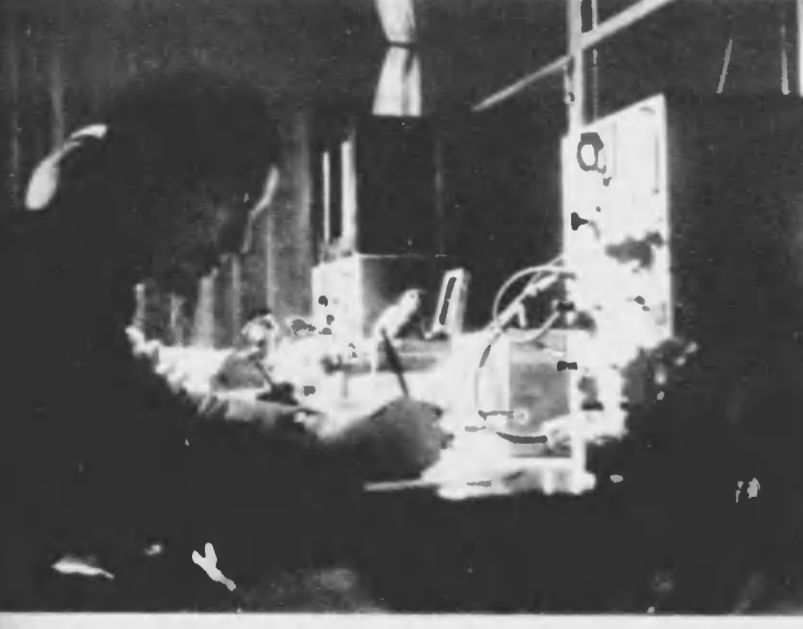
強烈な寒気が飛行服をとほして、ひし／＼と肌を刺す。午前〇時の〇〇基地、哨戒出動の命令が傳へられた。



整備員の手が、吸ひつく程に全金属の機體は冷えきつてゐる。カチ／＼と凍てついた雪を踏んで、機は出發位置に運ばれてゆく。

曉の空、凍る手に探られた電鐘から發せられてゐるに違ひない電波は、受信所のレシーバーに絶え間なくこの空、この空の報告を傳へてくる。

刻々哨戒機から發せられる報告を受けて通信隊の活動は敏速にしかも正確に續けられてゐる。岡上に赤鉛筆を握つた手がいんとかちかんでゐることも忘れて





十勝拓殖實習場全景



今日も雪が「たのむ」頃、雪の降をたたく心、海をやらに白い息が合図をうつ。出動準備だ



北に鍛へる

北海道十勝拓殖實習場



北海道帯広から南へ約六十キロ、日高山脈と太平洋に囲まれた大樹に設けられてゐる十勝拓殖實習場の訓練生たちは北邊の開拓挺身隊として零下三十度の極寒地帯に吐く息を凍らせて訓練に餘念がない。大東亞戦の進行と共に南方開拓の必要なことは勿論だが、これと同様に北方未開の處女地にちつくりと腰を落付けて上と開拓の必要なき開拓戦士を養成することは戦争を完遂すべき国力充實のためには極めて大きな役割の開始林かどくく伐木されてゆく。雪が解けると開墾され畜力利用の大規模な農業経営が實踐される

割を持つてゐるのだ。實習生たちは日々の訓練を通して北方農業に最適の経営法と様式とをそしてあらゆる自然の悪条件に挑戦するたくましい開拓精神を體得してゆく。北海道だけで今後の開發にまつ農耕地は約六十萬町歩、實習場でたき込まれた頭と腕が物をいふ舞臺は極めて広いだけ北方資源開發の闘士としてその双肩にかゝる使命は極めて重大といへよう

撮影 渡邊 義雄

肥料配合の講義を丹念にノートする。理論はやがて實際の答案となつて收穫にあらはれる。戸外は雪だ、風も出て来た、實習生たちは書簡の破れを快く暖爐の薪のはねる音にとかしながら日記をつけたり手紙を書いたり、讀書に耽つたりする。下手を取る手も足先もちーんと痛いほどの冷たさ。今日の仕事は材木運びだ



大東亞戰爭漫日誌
石川 進介



潜水艇の浮上



潜水艇の浮上



命の綱



車洗いの情



謀殺の現場



軍部顧問の決断



大男と小男 杉 桓夫
「アッ、おまの旦那様も百重ですか?」
「アッ、おまの旦那様も百重ですか?」

照準器



衣裳切符制 後以 泉 小 紫 郎
「上仁御の御買と、おからだ物置は要今
「おコタもとれぞ、なはでコタは個人
「?かたつ下りたに物置等下」



百重 森 飛 猛
「貸男、あまりひどいからお
「買ひなつては、」
「いや、小は百重なんて強
は學生時代からつたことがな
いから、これだけは成らさな
ないよ」



朝から夫婦

櫻本 映一

「お天候は良いし、日曜だ
し何處かへ行かないこと?」
夫「ウン。浴物をねだつたつ
て駄目だよ」



北支の防空訓練 撮影 北支軍報道部
日本と歩調を合せて米英解強に胸を高鳴らす新中
国では、今をきりと国防態勢強化に邁進してゐるが、
北支の中樞都市北京では一月二十三日から五日間
日華二百萬市民が、敵機侵入にそなへて演習のま
まの真剣な防空演習を行つた
ハリソン號引揚に成功
十二月八日、大東亞戦争勃發の當日、わが日華連絡
船長崎丸が米船ハリソン號を追跡、遂に坐獲せしめて
大手柄をたてたことは、快ニュースとしてまだ耳新
しい。その後ハリソン號の引揚作業は、日本サルベ
ジ会社が海軍艦艇の協力の下に着手、激浪を克服して
僅か四日間で一二月二十日見事に成功した



讀者へのお願ひ
寫真週報、週報の兩
誌は最近ますます購
讀者の激増をみてゐま
す。用紙等資材の關係
から新規の購読申込に
對しては御希望に應じ
兼ねる場合もあると思
ひます。従つて一冊の
寫真週報、週報も回覽
その他の方法で、出來
るだけ多數の人に利用
していただくやう御願
ひ致します

復讐者

- 1 ジャワ沖海戦の戦果を果けて下さい (8頁)
 - 2 蘭印の統合といはれるジャワの主要な農産物五つを果けて下さい (11頁)
 - 3 空襲警報が鳴りました。さて雨戸と襖と障子はどう處置したらいいですか? (16頁)
 - 4 ジャワは世界一の人口 (16頁)
 - 5 こんど四月から勤務所得税を納める者は、月給四十以上六十四以上、八十四以上、百四十以上から (15頁)
 - 6 こんど營業用の電燈や瓦斯の使用料金が、ヶ月十以上の場合一割の税がかかる。營業用一般家庭用の區別なく、同以上一割ではなかつたかね、いや使用料金の多少を問はず一割の税ださして何が正しいのでせうか? (14頁)
 - 7 月給百圓を及び了供一人のある勤人と月給百八十圓を及ぶ子供五人のある勤人の所得税負担額をこんどの増税法によつて算出して下さい (15頁)
 - 8 帝國潜水艦は二月五日敵艦一隻をジャワ海で撃沈した。元來駆逐艦には潜水艦が苦手だからね? いやそれは逆だよ。いや駆逐艦は速力が遅いからやれるのだよ。知らないのか駆逐艦には防雷装置がないからだ (9頁)
 - 9 蘭印諸島のうちで、一番よく開發されてゐる島は、スマタラ、ニールギニア、セルベス、ジャワ (10頁)
 - 10 空襲だ、もつと水桶を出して下さい、といふ聲に太郎君は「よし」と茶の間から火鉢を持ち出した。氣でも狂つたんでせうかね (16頁)
- 一問十點としてあなたは何點でしたか?

所 達 申	價 定	昭十七年一月十八日印刷發行
全國各地官報販賣所	一部 十 錢	編輯者 情報 報 局
書店・肆賣店	▲豫約配達御希望の方は一部十錢(外國郵便に依る地域は十九錢)の割合を以て前金を添へ御申込み下さい	印刷局 内閣印刷局
新聞販賣店	▲特大號の場合は其の都度御持込金より差額を申受けます	東京市町區 東京市町區下町
郵便材料店		

★表紙
一本のネチのゆるみもあつては大變なことになる。愛機の活躍も國士の奮りも、いから崩れるかも知れないのだ。内地の某航空基地では今日も張りきつた整備員の綿密な作業が夜を徹して続けられてゐる。さあこれはいさ。莞爾と微笑みながら整備員達は氷のやうに、名刀のやうに鋭く光るプロペラを凍るその手で愛撫するのだ

戦果にこたへよ

感謝貯蓄



大蔵省・道府県・全国金融協同会

真実週報 昭和十七年十一月十一日 第三種郵便物認可 昭和十七年十一月十八日発行 第一四八號

内閣印刷局印刷發行

(別冊別紙1-A4倍縦定規はさき大の書本)